



高橋 八重典 議員
無会派

問 公共交通機関の将来は？

答 持続可能な公共交通を目指す

問 地域公共交通活性化協議会が定める「コミバスの計画年数は。」
答 総務部長 28年度から32年度まで、5年間の計画。

問 期間内の方針と33年以降の方向性は。
答 総務部長 良い方向となるよう計画を継続。

問 通勤通学で送迎を余儀なくされている市民もいる。その負担の軽減に向け、協議会での検討は。
答 総務部長 持続可能な公共交通として、利便性の向上を協議会で考えていく。

問 現在の補助サービスにおける現状は。
答 総務部長 コミバスでドア・トゥ・ドアには対応できないが、福祉タクシー券などの利用で移動手段の確保がされている。

問 補助が受けられない市民への対策は。
答 総務部長 最適な運行を目指し改善していく。

問 5年・10年先の公共交通対策は。

問 健康都市宣言の未来像は？
答 総務部長 調査を基に公共交通としての在り方を考えていく。

問 オンデマンド交通の再検討は。
答 総務部長 運行経費を考慮し、現在の運行を継続。

問 人口減少問題に対する考えは。
答 総務部長 出生率を向上させ、転出の抑制と転入の増加によって人口規模の確保を図る。(表1参照)

問 健康寿命の考えは。
答 健康推進課長 「生涯健康のまちづくり」施策を行うっていく。

問 健康寿命の取り組みは。

問 健康都市宣言の未来像は？

答 充実した健康増進計画を進める

表1 国勢調査人口

	22年	27年	増減
総人口	43,272人	43,269人	△3人
年少人口 (15歳未満)	6,400人	5,894人	△506人
生産年齢人口 (15歳～64歳)	27,479人	26,249人	△1,230人
老年人口 (65歳以上)	9,157人	10,702人	1,545人
年齢不詳	236人	424人	188人
高齢化率	21.3%	25.0%	3.7%

3施設の利用状況 (27年度実績)

施設名	開館日数	娯楽室・風呂	カラオケ	卓球室
総合福祉センター	243日	39,283人	8,592人	2,971人
十四山総合福祉センター		38,896人	5,199人	-
いこいの里		16,080人	3,397人	1,458人

問 健康推進課長 「がん・たばこ対策」「生活習慣病対策」「歯および口腔の健康」「こころの健康」を重点として取り組む。

問 市内福祉施設の利用状況(介護・サービスを除く)は。
答 総合福祉センター所長 27年度実績で、3施設の月平均は、総合福祉センターが3274人、十四山総合福祉センターが3241人、いこいの里が1340人。

問 3施設の主な娯楽施設は。
答 総合福祉センター所長 調査を基に5年10年先の「富市公共施設等管理計画」で検討していく。

問 今後娯楽施設の充実を図る予定は。
答 総合福祉センター所長 調査を基に5年10年先の「富市公共施設等管理計画」で検討していく。

問 いこいの里芝生広場の活用の検討は。
答 総合福祉センター所長 スポーツの練習など多目的に利用できるの周知していく。

問 今後娯楽施設の充実を図る予定は。
答 総合福祉センター所長 調査を基に5年10年先の「富市公共施設等管理計画」で検討していく。